ＯＢＤⅡメモリーバックアップ取扱説明書

キット内容　　品番 JTC4726A

・本体	１個		
・9V 用配線	１本	・9V 電池	１個
・12V 用配線（ワニ口）	１本	・＋端子保護カバー	１枚

※本製品は１２Ｖ車専用です。

ＯＢＤⅡメモリーバックアップご使用の注意点

本製品はバッテリー交換時の短時間に車両のコンピューターやオーディオ等のメモリーを保持する為の商品です。
鈑金作業時や車両の整備時など長時間の作業を伴う際には使用しないで下さい。
間違った使用方法は本製品の破損や車両の不具合、データーの消去の原因となりますので作業開始前に必ず取扱説明書・使用時の注意点等、熟読頂き御理解頂いたうえで作業をしてください。
車両のバッテリーの状態により電圧不足の為コンピューター等のメモリーが保持されて無い場合があります。
車両が上記の様な場合、本製品を使用されてもメモリーが保持されません。
その場合車両のサービスマニュアル等を参考にしてスキャンツールでのリセット作業が必要な場合があります。

※本製品を使用して生じた場合の本機の故障、又は車両側の機器に対する損傷及び故障、データの消失等に関してましては一切保障いたしません。十分御理解頂き御使用ください。

（図 1）

１．キーシリンダーからキーを抜いてください。
※スマートキー等は車輌に反応しない離れた位置に置いてください。

車両の 16 ピン診断コネクターの位置をご確認ください。
車両の 16 ピン診断コネクターは一般的に運転席側のダッシュボード下部周辺にあります。
一部車両によってはセンターコンソール部、灰皿裏側にある場合があります。詳しくは車両のサービスマニュアル等をご確認ください。

（図 2）

２．左図２のように車両の 16 ピン診断コネクターとメモリーバックアップの本体を接続します。

（図 3）

３．　16 ピン診断コネクターまで電圧がかかっていれば、図３のようにメモリーバックアップの本体に緑色の LED が１個点灯します。

注意：バックアップ作業を開始する場合は車の窓を開けて全てのドアは閉めて、車外より作業を行ってください。
本機は補助用であり車両に電気を流す設計ではありませんので、絶対に車両に電気を流さないで下さい。

輸入車の様にキーＯＦＦ後にラジオ等の電源が落ちない車や、しばらくの間メーター表示が点灯している車の場合にはルームランプやメーター表示、ドアスイッチの消灯を確認した後、バックアップ作業を行って下さい。（ルームランプやドア開閉の警告灯などは 12Ｖの電球が使用されております、ドア開閉等で通電すると本機に過度の負荷が掛かり内部基盤及びヒューズ破損の原因となります。
車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、車両側の機器の損傷及び、データーの消去等を起こす場合が有りますので絶対に通電させないで下さい。）

（図４）

4. 供給電源を電池（９V）で行う場合は、 9V 用のコードに
電池（９V）をセットします。
バッテリー（１２V）で行う場合は、１２V 用コードの
ワニ口の赤色を最初にバッテリーのプラス端子に接続してください。
次にワニ口の黒色をバッテリーのマイナス端子に接続してください。

9V 電池

12V バッテリー

注意：プラス側とマイナス側を間違えない様に
接続してください。

（図５）

○ X

5．供給電源の電池もしくはバッテリーを接続した後に、メモリーバックアップ本体に
接続してください。本体の LED ランプが両方緑色になれば、正常に作動しています。
片側が赤色に点灯した場合は、電池もしくはバッテリーの電力不足が考えられます。
電圧が十分に得られる電池もしくはバッテリーに交換してください。（図４）
（車両によっては、メモリー用でも多くの電力を消費する場合が有り新品の
電池を使用しても急激な電圧降下によりＬＥＤが赤色に点灯する場合が有ります。
その際は付属の１２V用コードを使用しバッテリーより電源を取り作業して下さい。）

注意：OBD-Ⅱのコネクターにメモリーバックアップ本体を接続した
後は、給電源コードのプラス側とマイナス側が接触しない様
ご注意ください。

6．供給電源の接続が完了しましたら、バッテリーを外す前に再度車両の全てのドア、トランク等が
閉まっており車両に電気の使用が無い状態になっているのを必ず確認してください。
確認後車両のバッテリーを外してバッテリーの交換作業を素早く行ってください。

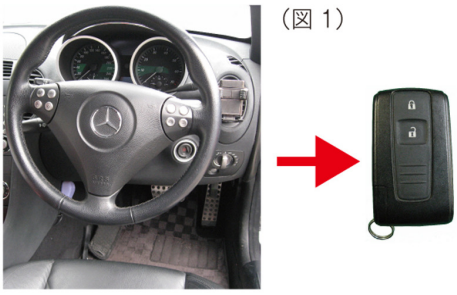
注意：バッテリー交換時に車両側の＋端子を外した時に付属の＋端子用保護カバーを使用して
端子がボディーに接触しない様に注意して下さい。（バックアップ用の電気が流れていま
すのでボディーに触れるとショートします。本機に過度の負荷が掛かり内部基盤及び
ヒューズ破損の原因となります。車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、
車両側の機器の損傷及び、データーの消去等を起こす場合が有りますのでご注意ください。）
12VのバッテリーでＯＢＤⅡバックアップの電源供給を行っている場合に車両システムの作動テストは
絶対に行わないで下さい。

**※車両によってバッテリーがエンジンルーム以外に付いている場合には
車両に合った方法で作業を行って下さい。**

例①：バッテリーがトランク下部についている場合
トランク内の照明が時間経過で自動的に切れる場合には消灯まで待って作業を行って下さい。
トランク内の照明にスイッチが付いている場合はスイッチをＯＦＦにして作業を行って下さい。
トランク内の照明にスイッチが無い場合は開閉スイッチにテーピング等を施し
ランプが点灯しない様にして作業を行って下さい。

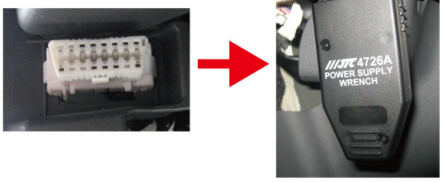
例②：バッテリーが車内リアシート下部についている場合
リアシート座面を取り外し交換するバッテリーを持って車内に乗り込み窓を開けドアを閉めて
ルームランプやシステムがスリープ状態になった事を確認して作業を行って下さい。

ＯＢＤⅡメモリーバックアップ
使用不可車両につきまして



（図１）

通常キーシリンダーからキーを抜いて左図２のようにＯＢＤⅡの
コネクターとメモリーバックアップの本体を接続するとコネクターの
通電チェックのＬＥＤランプが点灯します（図３）ですが
平成１３年頃のダイハツ車や一部のホンダ車では点灯しない車両が
あります。
これらの車両につきましてはキーシリンダーの位置がＡＣＣやＯＮの
位置にしないと車両の 16 ピン診断コネクターへ電源供給されません。



（図２）

※万一、ＡＣＣやＯＮの位置で使用した場合や作業の途中でドアを
開けたりすると車両のシステムが起動し通電すると本機に過度の
負荷が掛かり内部基盤及びヒューズ破損の原因となります。
車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、車両側の機器の
損傷及び、データーの消去等を起こす場合が有りますので絶対にキー
操作や作業途中でのドアの開閉等は行わないで下さい。

（図３）

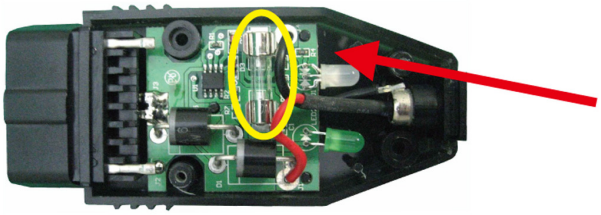
当商品に付きましては、車両への損害防止と安全性を考慮し
キーを抜きすべての車両システムがスリープ状態になってから
使用する設計です。
乾電池でもバックアップが可能な低電圧回路を使用しておりますので
ＡＣＣやＯＮの位置で車両の 16 ピン診断コネクターへ電源供給される
車両には使用出来ません。

※　輸入車や商用車におきましてはＯＢＤからＯＢＤⅡへの移行時期の設計の車両の場合、
旧コネクターとＯＢＤⅡ端子の両方が付いている場合が有ります。
この様な車両の場合、ＯＢＤⅡの端子がダミーの場合が有りますので、最初に本機を
接続し通電チェックのＬＥＤランプが１個点灯するか確認後、作業を行って下さい。

輸入販売元
有限会社ラグナ
山口県周南市大字久米 3076-3
TEL　0834-36-1300
FAX　0834-36-0550

※ 作業中に誤って本機に負荷を掛けた場合
本体内部のヒューズが破損致します。

バックアップしない、ランプの点灯の異常がある時等も
本体内部のヒューズの破損が原因の場合がありますので本機内部をご確認ください。
本機の表裏のプラスネジ４本を取り外して、基盤と配線に注意して本機を分割してください。
内部に管ヒューズがありますので状態をご確認ください。



ヒューズ (250V/6A 20mm)
品番　JTC4726A-S

ドアを開放した状態で作業される場合はドアブザーストッパー（別売）の御使用が便利です。
ドアブザーストッパー　（２個セット）　品番　12K118AB

スイッチがセンターピラー側に付いている場合

スイッチがドアのヒンジ側に付いている場合
吸盤の向きを組み変えても使用できます。

ドアを開けた状態で作業する時に車両のカーテシスイッチをドアブザーストッパーで押さえて
ドア開放警告音や、ルームランプを消灯する事ができます。

注意：カーテシスイッチが電極式やフック式等一部使用出来ない車種があります。
ドアブザーストッパーを使用してバックアップ作業をする場合は作業中にストッパーが絶対に外れない様にご注意ください。外れた場合、カーテシスイッチが通電します。
通電した場合バッテリーバックアップに過度の負荷が掛かり内部基盤及びヒューズ破損の原因となります。車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、車両側の機器の損傷及び、データーの消去等を起こす場合が有りますので絶対に通電させないようにご注意してください。

バックアップに失敗したら

エンジン・パワーウインド等の不調が起こります。
その際は右記の商品をご使用ください。
＊ナビ等のメモリーの復活は出来ません。

リセットツール
JTCW3031

超 簡単接続！

超 簡単操作！

エンジン・ミッションの故障コードが読取れ
車両コンピューターから消去できます。